

| 指導時期 | 単元     | 教材名                 | 配当<br>時数 | 教材目標   | 学習活動の流れ   | 学習指導要領<br>との対応<br>(*は本教科書独<br>自の言語活動例                | 評価規準例  | 評価の観点の例   |
|------|--------|---------------------|----------|--|---|--|--|---|
| 4月   | 一言葉を探る | 春に                  | 1        | ●言葉の中の春を読む。  | 1 「この気もちはなんだろう」という表現の繰り返しに注意して、詩の中の「春」を読む。                            | C(1)ア<br>C(1)ウ<br>伝国(1)イ(イ)<br><b>言語活動例</b><br>C(2)ア | ◇国語への関心・意欲・態度<br>・詩に描かれた思いを自分の心と比べて考えようとしている。<br>◇読む能力<br>・詩に描かれた思いの内容や表現の効果について自分の考えを述べている。<br>◇言語についての知識・理解・技能<br>・この詩の中で用いられた表現方法の工夫について理解している。 | ◇国語への関心・意欲・態度<br>【Bの判定基準】詩に描かれた思いから共感できるところを見つけようとしている。<br>【Aの具体的な姿の例】詩に描かれた思いのどこに、なぜ共感できるのか考えようとしている。<br>【Cへの支援】詩に描かれた思いと今の自分の思いとに、共通するところがないか探すように助言する。<br>◇読む能力<br>【Bの判定基準】「この気もち」の内容を自分の気持ちに照らしたり、繰り返しの効果を取り上げたりして自分の考えを述べている。<br>【Aの具体的な姿の例】自分の気持ちとの共通点を指摘したり、疑問を繰り返す形式をとりながら、自分の希望や喜びがしだいに増していることを指摘している。<br>【Cへの支援】「この気もち」とはどのような気持ちか、それをどのように表現しているか整理するように助言する。<br>◇言語についての知識・理解・技能<br>【Bの判定基準】繰り返しや抽象的な表現、疑問表現や対比表現などについて、その特徴を指摘している。<br>【Aの具体的な姿の例】繰り返しや抽象的な表現、疑問表現や対比表現などについて、その特徴を指摘してその効果について考えている。<br>【Cへの支援】表現方法の種類を示し、詩の中のどの表現がそれにあたるかを探すように助言する。 |
|      |        | 【話す聞く】一言でまとめ一言から広げる | 1        | (●要約や体験談にふさわしい表現のあり方を考える。)<br>(●どのようにすれば効果的に表現できるかを考える。) | 1 グループで、一人が最近のできごとを話し、それを聞いた他のメンバーが一言でまとめ、その一言からさらに思い浮かぶ体験を別のメンバーが話す、 | A(1)ア<br>A(1)イ<br>伝国(1)イ(イ)<br><b>言語活動例</b><br>A(2)ア | ◇国語への関心・意欲・態度<br>・話を聞いて、その内容から自分の体験を思い起こして話そうとしている。<br>◇話す・聞く能力<br>・自分の体験や知識を整理して考えをまとめ、語句や文を効果的に使ってわかりやすく話している。                                   | ◇国語への関心・意欲・態度<br>【Bの判定基準】話を聞いて、その内容から自分の体験を思い起こして話そうとしている。<br>【Aの具体的な姿の例】話を聞いて、要約にふさわしい表現を探すとともに、その内容から自分の体験を思い起こし表現を工夫して話そうとしている。<br>【Cへの支援】他の学習者の話と類似した体験を思い起こすように促す。   |

|        |   |                                       |  |   |  |   |
|--------|---|---------------------------------------|--|---|--|---|
|        |   |                                       | <p>というような活動を続けていく。</p>   |   | <p>◇言語についての知識・理解・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・慣用句や四字熟語などを用いて一言でまとめる、豊かな語彙をもっている。</li> </ul>  | <p>◇話す・聞く能力</p> <p><b>[Bの判定基準]</b> 自分の体験や知識を整理して考えをまとめ、語句や文を効果的に使ってわかりやすく話している。</p> <p><b>[Aの具体的な姿の例]</b> 自分の体験や知識を整理して考えをまとめ、状況に応じた語句や文を効果的に使ってわかりやすく話し、対話の流れを支えている。</p> <p><b>[Cへの支援]</b> 他のメンバーの話し方や言葉を書き出させ、参考とさせる。</p> <p>◇言語についての知識・理解・技能</p> <p><b>[Bの判定基準]</b> 慣用句や四字熟語などを用いて一言でまとめる、豊かな語彙をもっている。</p> <p><b>[Aの具体的な姿の例]</b> 慣用句や四字熟語などを用いて一言でまとめる、豊かな語彙をもち、それを状況に応じて適切に使っている。</p> <p><b>[Cへの支援]</b> 他の学習者の話の中心はどういうことかを確認させ、それを一言でまとめるために有効な表現を考えさせる。</p>   |
| 立ってくる春 | 2 | <p>●表現上の工夫とその効果に注意して読み、作品の魅力を味わう。</p> | <p>1 どのようなところに筆者は「春が立つ」ことを発見しているのかを読む。</p> <p>2 筆者の発見に対する自分の考えをもち、作品の魅力を味わう。</p> | <p>C(1)ア<br/>伝国(1)イ(イ)<br/><b>言語活動例</b><br/>C(2)ア</p> | <p>◇国語への関心・意欲・態度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表現に着目しながら、作品の魅力を味わおうとしている。</li> </ul> <p>◇読む能力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文脈の中における語句の効果的な使い方など、表現上の工夫に注意して読んでいる。</li> </ul> <p>◇言語についての知識・理解・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・季節感を表す語句や仮名や漢字の使い分けなどに注意して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> </ul> | <p>◇国語への関心・意欲・態度</p> <p><b>[Bの判定基準]</b> 表現上の工夫とその効果に注意して、作品の魅力を読み味わおうとしている。</p> <p><b>[Aの具体的な姿の例]</b> 表現上の工夫とその効果を、作品の魅力との関係で捉えようとしている。</p> <p><b>[Cへの支援]</b> 表現上の工夫がされている箇所を示し、どのような感じを受けるか問いかける。</p> <p>◇読む能力</p> <p><b>[Bの判定基準]</b> 表現上の工夫に注意して読んでいる。</p> <p><b>[Aの具体的な姿の例]</b> 表現上の工夫に注意して読むとともに、文脈における効果を考えている。</p> <p><b>[Cへの支援]</b> 表現上の工夫がされている箇所を指摘させ、それによるどのような効果があるのか考えさせる。</p> <p>◇言語についての知識・理解・技能</p> <p><b>[Bの判定基準]</b> 本文にある季節感を表す語句や仮名や漢字の使い分けなどに注意して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p><b>[Aの具体的な姿の例]</b> 季節感を表す語句について調べたり、仮名や漢字の使い分けの効果について考えたりすることで、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p><b>[Cへの支援]</b> 季節感を表す語句や、仮名や漢字の使い分けがされている箇所を指摘させる。</p> |

|    |                 |   |   |   |  |   |   |
|----|-----------------|---|---|---|--|---|---|
|    | 漢字の練習<br>1      | — | —   | —   | 伝国(1)ウ(ア)<br>伝国(1)ウ(イ)                               | —   | —   |
|    | 私               | 4 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●場面や登場人物の設定の仕方を捉え、作品を読み深める。</li> <li>●作品を読み、人間、社会などについて思いを巡らせ、自分の意見をもつ。</li> </ul> | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 物語の中の「市民対応」とはどのようなできごとかを捉え、あらすじをまとめる。</li> <li>2 役所に来た「女性」は何を問題にしているのかを読み取る。</li> <li>3 図書館に行った「私」からどのような人物像を読み取ることができるか考える。</li> <li>4 場面や登場人物の設定の仕方について、考えたことを話し合う。</li> </ol> | C(1)イ<br>C(1)エ<br>伝国(1)イ(イ)<br><b>言語活動例</b><br>C(2)ア | <ul style="list-style-type: none"> <li>◇国語への関心・意欲・態度               <ul style="list-style-type: none"> <li>・意欲をもって作品を読み深め、批評していくなかで、情報としての言葉とその問題に関心をもとうとしている。</li> </ul> </li> <li>◇読む能力               <ul style="list-style-type: none"> <li>・場面や登場人物の設定の仕方を捉え、作品を読み深めている。</li> <li>・作品を読み、人間、社会などについて思いを巡らせ、自分の意見をもっている。</li> </ul> </li> <li>◇言語についての知識・理解・技能               <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉の使い分けに注意し、語感を磨き、語彙を豊かにしている。</li> </ul> </li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>◇国語への関心・意欲・態度               <ul style="list-style-type: none"> <li>【Bの判定基準】 作品の読み深めや批評に意欲的に取り組み、情報としての言葉とその問題に気づき、それに向き合おうとしている。</li> <li>【Aの具体的な姿の例】 意欲をもって作品を読み深め、批評し、情報としての言葉とその問題を自分の問題として捉えようとしている。</li> <li>【Cへの支援】 自分と比べて読ませることで内容に関心をもたせ、意欲的に読み深められるよう支援し、情報も言葉であることに気づかせたうえで、言葉の問題を考えさせる。</li> </ul> </li> <li>◇読む能力               <ul style="list-style-type: none"> <li>【Bの判定基準】 場面や登場人物の設定の仕方から、登場人物ごとの個人情報に対する考えを説明し、それを批評している。 作品の読みを踏まえて、人間や社会などについて、自分の意見をもっている。</li> <li>【Aの具体的な姿の例】 登場人物ごとの個人情報に対する考えにおける問題を捉えたうえで、人間や社会などについて思いを巡らせ、作品自体を批評し、自分の意見を述べている。</li> <li>【Cへの支援】 前半部と後半部に分け、情報としての個人が二重になっていることをそれぞれどのように解決していくのかを読み取らせることで、登場人物ごとの個人情報に対する考えを整理させる。 上を踏まえ、情報としての個人の問題について、自分に引きつけて考えさせる。</li> </ul> </li> <li>◇言語についての知識・理解・技能               <ul style="list-style-type: none"> <li>【Bの判定基準】 かぎ付きの言葉が意味することに注意して読み、その表現効果を感じている。</li> <li>【Aの具体的な姿の例】 かぎ付きの言葉が意味することに注意して読むとともに、その表現効果について説明している。</li> <li>【Cへの支援】 かぎ付きの言葉を抜き出させ、その言葉が意味することを文脈に即して考えさせる。</li> </ul> </li> </ul> |
| 5月 | 【書く】<br>広告を批評する | 3 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●広告を比較して、批評文を書く。</li> <li>●効果的な構成について自分の考</li> </ul>                               | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 広告のコピーを比較して、自分の考えをもつ。</li> <li>2 自分の意見を効果的に伝えるため</li> </ol>  | B(1)ア<br>伝国(1)イ(イ)<br><b>言語活動例</b><br>B(2)ア          | <ul style="list-style-type: none"> <li>◇国語への関心・意欲・態度               <ul style="list-style-type: none"> <li>・関心のある事柄について、批評する文章を書こうとしている。</li> </ul> </li> <li>◇書く能力               <ul style="list-style-type: none"> <li>・広告のコピーを比較し、自分の考え</li> </ul> </li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>◇国語への関心・意欲・態度               <ul style="list-style-type: none"> <li>【Bの判定基準】 関心のある事柄について、批評する文章を書こうとしている。</li> <li>【Aの具体的な姿の例】 広告のコピーの対象や伝達方法について意識したうえで、自分の気になったことについて文章を書こうとして</li> </ul> </li> </ul>   |

|                        |              |                         |   |  |   |  |  |
|------------------------|--------------|-------------------------|---|--|---|--|--|
|                        |              |                         | えを深める。                                    | に構成を考え、批評文を書く。<br>3 書いた文章を読み合い、構成や表現の工夫について話し合う。 |   | を深めるとともに、構成を選択して文章にまとめている。<br>◇言語についての知識・理解・技能<br>・効果的な語句を選び、語感を磨き語彙を豊かにしている。  | いる。<br>【Cへの支援】気になる言葉を指摘させて、なぜ気になるかをまとめさせる。<br>◇書く能力<br>【Bの判定基準】広告のコピーを比較し、自分の考えを深めるとともに、構成を選択して文章にまとめている。<br>【Aの具体的な姿の例】自分が最も伝えたいことを明確にしたうえで、適切な接続表現などを用いて、説得力のある文章を書いている。<br>【Cへの支援】教科書P39の「批評文の例」をもとに、双括型の構成で文章を書かせる。<br>◇言語についての知識・理解・技能<br>【Bの判定基準】効果的な語句を選び、語感を磨き語彙を豊かにしている。<br>【Aの具体的な姿の例】国語辞典や類語辞典などを用いて、自分の考えていることや感じていることに合う言葉を選んで表現している。<br>【Cへの支援】周囲の学習者との交流をとおして、どのような言葉が使われているかに関心を向けさせ、気になった言葉について書き留めさせる。 |
| 漢字の広場<br>1<br>呉音・漢音・唐音 | 1            | ●漢字の音の歴史についての理解を深める。    | 1 複数の音をもつようになった歴史的経緯と音の種類について理解し、用法を整理する。 | 伝国(1)イ(イ)<br>伝国(1)ウ(ア)<br>伝国(1)ウ(イ)              | ◇国語への関心・意欲・態度<br>・漢字の音の歴史について興味をもち、理解を深めようとしている。<br>◇言語についての知識・理解・技能<br>・複数の音をもつ漢字の用法を整理し、正しく使っている。 | ◇国語への関心・意欲・態度<br>【Bの判定基準】身のまわりの漢字をあげ、その音を積極的に確認しようとしている。<br>【Aの具体的な姿の例】自ら漢和辞典を手に取り、音を調べ、その種類を分類しようとしている。<br>【Cへの支援】小学校学習漢字をあげ、音を確認させながら、それぞれの読み方に歴史的な背景があることを理解させる。<br>◇言語についての知識・理解・技能<br>【Bの判定基準】漢字のもつ複数の音を理解し、文脈に応じて適切な熟語を正しく書き表している。<br>【Aの具体的な姿の例】異なる音をもつ漢字から作られるそれぞれの熟語を複数用いて文を作っている。<br>【Cへの支援】小学校で習った複数の音をもつ漢字を用いた熟語を提示し、読みを確認し、分類させる。 |  |
| 二<br>関係<br>「新しい博物学」の時代 | 5<br>(内、話聞1) | ●筆者のものの見方や考え方をともに、理科系と文 | 1 全文を通読し、三つの大段落に小見出しをつけて整理                | C(1)ア<br>C(1)イ<br>C(1)ウ                          | ◇国語への関心・意欲・態度<br>・筆者のものの見方や考え方、理科系と文科系の知識の関係に関心をもち  | ◇国語への関心・意欲・態度<br>【Bの判定基準】筆者のものの見方や考え方、理科系と文科系の知識の関係に関心をもち、自分の考えをまとめようとしている。  |  |

|                            |  |   |   |   |   |   |
|----------------------------|--|---|---|---|---|---|
| <p>を<br/>生<br/>き<br/>る</p> |  | <p>科系の知識の関<br/>係について自分<br/>の意見をまとめ<br/>る。<br/>●文章における論<br/>理の構成や展開、<br/>文脈における語<br/>句の効果的な使<br/>い方などを理解<br/>する。</p> | <p>し、初発の感想をま<br/>とめる。<br/>2 博物学からさま<br/>ざまな科学が発達<br/>していった歴史や、<br/>筆者のいう「新しい<br/>博物学」について理<br/>解する。<br/>3 現代の天文学と<br/>過去の文献との結<br/>びつきなどの例か<br/>ら筆者の問題提起<br/>について、表や図に<br/>整理しながら論理<br/>の展開の仕方を理<br/>解し、自分の考えを<br/>もつ。<br/>4 「新しい博物学」<br/>という考え方とは<br/>どのようなものな<br/>のか、論理の展開の<br/>仕方を捉えて文章<br/>にまとめる。</p> | <p>伝国(1)イ(イ)<br/><b>言語活動例</b><br/>C(2)イ</p> | <p>ち、自分の考えをまとめようとして<br/>いる。<br/>◇<b>読む能力</b><br/>・筆者のものの見方や考え方を捉える<br/>とともに、理科系と文科系の知識の<br/>関係について、自分の考えをまとめ<br/>ている。<br/>・文章における論理の構成や展開、文<br/>脈における語句の効果的な使い方な<br/>どを理解している。<br/>◇<b>言語についての知識・理解・技能</b><br/>・論理の展開を表す言葉や、本文のキ<br/>ーワードとなる言葉の文脈上の意味<br/>を捉えている。</p> | <p><b>[Aの具体的な姿の例]</b>筆者のものの見方や考え方を捉えるとともに、理科系と文科系の関係について、興味がわいたことや疑問に思ったことを自分の経験と照らし合わせて考えたり、調べたことをもとの考えをまとめようとしている。<br/><b>[Cへの支援]</b>先生や友達など、身のまわりの人たちとのやりとりの中で、理科系と文科系の関係につながるような体験を考えさせたり、理科系と文科系の関係を実感した体験を思い起こさせたりする。<br/>◇<b>読む能力</b><br/><b>[Bの判定基準]</b>筆者の「新しい博物学」についてのものの見方や考え方を捉えるとともに、理科系と文科系の知識の関係について、自分の考えをまとめている。<br/>論理展開を表す語や文末表現をおさえながら、文章における論理の構成や展開、文脈における語句の効果的な使い方などを理解している。<br/><b>[Aの具体的な姿の例]</b>筆者の「新しい博物学」についてのものの見方や考え方を文章の構成や展開、表現の工夫に着目して捉えるとともに、理科系と文科系の知識の関係について本文を要約したり要旨をまとめたりしながら、自分の考えをまとめている。<br/>論理展開を表す語や文末表現をおさえながら、文章における論理の構成や展開、文脈における語句の効果的な使い方などを理解し、表現の仕方の効果を評価している。<br/><b>[Cへの支援]</b>文章の構成や展開、表現の工夫が読み手にどのような印象を与え、効果を生んでいるかを検討させたり、筆者の言葉を引用させたりしながら、自分の考えをまとめさせる。<br/>筆者の主張（内容）だけでなく、「……と考えています」「……と考えられています」「……になりました」など、事実と意見を区別している箇所や具体例の示し方などに注目させ、その効果や印象について考えさせる。<br/>◇<b>言語についての知識・理解・技能</b><br/><b>[Bの判定基準]</b>接続表現などの論理の展開を表す言葉や、「博物学」「理科系」「文科系」「叡智」など本文のキーワードとなる言葉の文脈上の意味を捉えて、自分の文章に用いている。<br/><b>[Aの具体的な姿の例]</b>接続表現などの論理の展開を表す言葉や、「博物学」「理科系」「文科系」「叡智」など本文のキーワードとなる言葉を用いて、筆者のものの見方や考え方にふれながら、自分の</p> |
|----------------------------|--|---|---|---|---|---|

|    |                          |   |  |  |   |  |  |
|----|--------------------------|---|--|--|---|--|--|
|    |                          |   |  | 5 中学校の学びの中から、理科系と文科系の知を結びつけることで、どのような発見があるかについて話し合う。   | A (1)エ  | ◇話す・聞く能力<br>・話し合いをとおして、互いの考えを生かしながら、課題についての考えを深めている。   | 意見を述べている。<br>【Cへの支援】筆者のものの見方や考え方と同時に、筆者の用いている語彙に着目させて、意味を理解させる。  |
|    | 漢字の練習<br>2               | — | —  | —  | 伝国(1)ウ(ア)<br>伝国(1)ウ(イ)                        | —  | —  |
| 6月 | 【話す聞く】<br>話を聞いて自分の表現に生かす | 3 | ●講演を聞き、話の内容や話し方のよい点に学ぶ。<br>●話を聞き、自分のものの見方や考え方を深める。 | 1 活動の流れを確認し、講演のテーマについて自分の考えをもつ。<br>2 講演を聞き、講演者の主張に対する自分の考えをまとめ、内容や表現の仕方のよい点に学ぶ。<br>3 前時でまとめた考えを、相互に交流して伝え合う。 | A (1)ウ<br>伝国(1)イ(イ)<br><b>言語活動例</b><br>A (2)ア | ◇国語への関心・意欲・態度<br>・講演を聞いて、自分の考えを深め、自分の表現に生かそうとしている。<br>◇話す・聞く能力<br>・講演を聞いて、その内容や表現の仕方を評価して、自分の考えを深めたり、表現に生かしたりしている。<br>◇言語についての知識・理解・技能<br>・慣用句・四字熟語などに関して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 | ◇国語への関心・意欲・態度<br>【Bの判定基準】講演を聞いて、自分の考えを深め、自分の表現に生かそうとしている。<br>【Aの具体的な姿の例】講演の内容のよい点を見つけ、相手にわかりやすく伝えるための表現の仕方を身につけようとしている。<br>【Cへの支援】講演で印象に残ったところとその理由を考えさせる。<br>◇話す・聞く能力<br>【Bの判定基準】講演を聞いて、その内容や表現の仕方を評価して、自分の考えを深めたり、表現に生かしたりしている。<br>【Aの具体的な姿の例】テーマから自分の考えを予想しておき、自分の考えとの共通点や相違点をメモにまとめながら講演を聞き、その内容や表現の仕方を適切に評価して、自分の考えを深めたり、表現に生かしたりしている。<br>【Cへの支援】話の内容をメモにまとめ、共感できた点について、感想を書き出させる。<br><b>言語についての知識・理解・技能</b><br>【Bの判定基準】慣用句・四字熟語などに関して、語感を磨き語彙を豊かにしている。<br>【Aの具体的な姿の例】慣用句・四字熟語などに注意して聞き、自分の語彙を増やしていくことで、語彙力の向上を図っている。<br>【Cへの支援】講演の中で、慣用句・四字熟語などのさまざまな言葉が使われていることを示し、一つでも多くの言葉を自分の語彙と |

|             |   |   |                              |  |                                     |   |  |
|-------------|---|---|------------------------------|--|-------------------------------------|---|--|
|             |   |   |                              |  |                                     | して取り入れられるようにさせる。  |  |
|             | 漢字の広場<br>2<br>熟字訓                                       | 1 | ●熟字訓についての理解を深める。             | 1 熟字訓についての理解を深め、正しく書き表す。                                     | 伝国(1)イ(イ)<br>伝国(1)ウ(ア)<br>伝国(1)ウ(イ) | ◇国語への関心・意欲・態度<br>・熟字訓について興味をもち、理解を深めようとしている。<br>◇言語についての知識・理解・技能<br>・熟字訓の読み方を理解し、正しく使っている。  | ◇国語への関心・意欲・態度<br>【Bの判定基準】身のまわりの熟語をあげ、熟字訓を見つけようとしている。<br>【Aの具体的な姿の例】「付表」に示されている熟字訓について積極的に読みを確認し、自ら国語辞典を手に取り意味を確認しようとしている。<br>【Cへの支援】日常、目にふれることの多い「明日(あす)」「風邪(かぜ)」「大人(おとな)」などの身近な熟字訓を提示し、その読みを答えさせながら、理解への足がかりとさせる。<br>◇言語についての知識・理解・技能<br>【Bの判定基準】「付表」にある言葉の読み方を整理し、文脈に応じて適切な熟字訓を正しく書き表している。<br>【Aの具体的な姿の例】「付表」にある言葉を用いて、その意味に注意しながら文を作っている。<br>【Cへの支援】日常でよく使用している熟字訓を提示し、読み方を確認する中で、「訓」が構成する漢字の一つ一つに対応するのではなく、熟字全体についていることに気づかせる。 |
|             | 言葉の小窓<br>1<br>和語・漢語・外来語<br><br>言葉(解説)<br>1<br>和語・漢語・外来語 | 1 | ●和語・漢語・外来語について理解し、効果的に使い分ける。 | 1 和語・漢語・外来語のもつ印象の違いを考える。それぞれの語種の成り立ちをおさえ、場面に応じた使い分け方について考える。 | 伝国(1)イ(イ)                           | ◇国語への関心・意欲・態度<br>・和語・漢語・外来語について興味をもち、それぞれの語種のもつ印象の違いをすすんで考えようとしている。<br>◇言語についての知識・理解・技能<br>・和語・漢語・外来語などの使い分けに注意し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 | ◇国語への関心・意欲・態度<br>【Bの判定基準】和語・漢語・外来語のもつ印象の違いを考えようとしている。<br>【Aの具体的な姿の例】和語・漢語・外来語のもつ印象の違いをおさえ、場面によってどのように使い分けるか考えようとしている。<br>【Cへの支援】和語・漢語・外来語のもつ印象の違いに、具体例を示すなどして気づかせる。<br>◇言語についての知識・理解・技能<br>【Bの判定基準】和語・漢語・外来語の成り立ちや、それぞれの語種がもつ印象についてワークシートにまとめ、理解している。<br>【Aの具体的な姿の例】和語・漢語・外来語の成り立ちや、それぞれの語種がもつ印象についてワークシートにまとめ、理解したうえで、自らの言語生活を見直している。<br>【Cへの支援】ワークシートに記入させ、それぞれの語種を日常生活で実際に使う場面を考えさせる。   |
| 三<br>歴<br>史 | 無言館の青春  | 2 | ●目的に応じて本や文章などを読み、知識を広げた      | 1 「無言館」に展示されている絵や添えられた言葉に対                                   | C(1)オ<br>伝国(1)イ(イ)<br><b>言語活動例</b>  | ◇国語への関心・意欲・態度<br>・自分の読書生活を振り返ろうとしている。   | ◇国語への関心・意欲・態度<br>【Bの判定基準】読書生活を振り返り、本の選び方や読み方について考えようとしている。   |

|    |            |   |                             |  |  |  |  |
|----|------------|---|-----------------------------|--|--|--|--|
|    | をひらく       |   | り,自分の考えを深めたりする。             | する筆者の考え方について,自分の考えをまとめ,話し合いながら理解を深める。<br>2 自分の読書生活を振り返り,本の紹介をとおして読書に対する関心を広げる。   | C(2)ウ  | <p>◇<b>読む能力</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本や文章を読み,自分の考えや知識を広げている。</li> </ul> <p>◇<b>言語についての知識・理解・技能</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・『無言館の青春』に描かれたさまざまな表現について考えている。</li> </ul>  | <p>[Aの具体的な姿の例]本と出会ったきっかけや,その時の状況なども考えながら読書生活を振り返ろうとしている。</p> <p>[Cへの支援]どのような物事に興味・関心があるかを引き出し,それに応じた本を紹介する。</p> <p>◇<b>読む能力</b></p> <p>[Bの判定基準]目的に応じて本や文章を読み,自分の考えや知識を広げている。</p> <p>[Aの具体的な姿の例]読んだ本の内容をもとに,疑問に思ったことを調べたり,他の本と読み比べたりしている。</p> <p>[Cへの支援]読んだ本の内容について,「疑問点」「もっと知りたくなったこと」「印象に残ったこと」などの具体的な視点を与えて振り返らせる。</p> <p>◇<b>言語についての知識・理解・技能</b></p> <p>[Bの判定基準]表現に注意して読み,言葉に関する知識を広げ,語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>[Aの具体的な姿の例]描かれた表現にこめられた思いを自分の表現に生かそうとしている。</p> <p>[Cへの支援]「絵」「作品」「言葉」などから気になる表現をあげさせ,これまで読んできた本などと比較させる。</p> |
| 7月 | 情報を編集するしかけ | 3 | ●同一の新聞記事・テレビニュースの報道を比較して読む。 | <p>1 教材文を読み,①と②の画面がどのように使われているかを知り,情報の発信者の意図について理解する。</p> <p>2 新聞記事を構成する学習とテレビニュースを作成する学習をとおして,情報を編集するしかけへの理解を深める。</p> <p>3 作成した新聞とテレビニュースについて,自分が選んだ情報と構成を振</p> | C(1)ウ<br>C(1)オ<br>伝国(1)イ(イ)<br><b>言語活動例</b><br>C(2)イ | <p>◇<b>国語への関心・意欲・態度</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報伝達の手法の違いを理解し,比較しながら読もうとしている。</li> </ul> <p>◇<b>読む能力</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・論説や報道などを読み比べることをとおして,その表現の仕方などを評価している。</li> </ul> <p>◇<b>言語についての知識・理解・技能</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・語句に注意して,言葉に関する知識を広げ,語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> </ul> | <p>◇<b>国語への関心・意欲・態度</b></p> <p>[Bの判定基準]新聞記事とテレビニュースの情報伝達の手法の違いを理解し,比較しながら読もうとしている。</p> <p>[Aの具体的な姿の例]新聞は,文字情報による頭括型の情報伝達を行い,強調したい部分を見出しや写真で視覚的に補強するレイアウト型のメディア,テレビニュースは,見せたいものを映像,音,字幕で強調し,クライマックスを作りながら放送する演出型のメディアであることを理解しようとしている。</p> <p>[Cへの支援]新聞を読んだことがない,テレビニュースを見たことがない学習者には,まずは,モデルとしての新聞,テレビニュースを示しながら,報道そのものに興味をもたせることが重要である。その際,教材でも提示しているように,同じ内容を扱う新聞記事,テレビニュースをそろえることができるとより効果的である。報道が扱う内容については,内容面に強く興味がひかれるものではなく,表現に着目できるような報道記事を選ぶことが大切である。</p> <p>◇<b>読む能力</b></p> <p>[Bの判定基準]新聞やテレビニュースなどを読み比べることをと</p> |

|   |   |                          |  |           |  |  |
|---|---|--------------------------|--|-----------|--|--|
|   |   |                          |  | り返る。      |  | <p>おして、その表現の仕方などを評価している。</p> <p>目的に応じて文章を読んだり映像を見たりして、知識を広げたり、自分の考えを深めたりしている。</p> <p><b>【Aの具体的な姿の例】</b> 新聞は、見出し、リード文、本文、写真、図、キャプションを用いて、第三者によって情報が伝えられていること、それぞれは、全体の印象を踏まえながら、関わり合っ一つの新聞紙面を構成していること、テレビニュースは、スタジオおよびアナウンサー、VTRなどの多様な要素によって放送が行われていること、VTRの場合は、映像、BGM、ナレーション、字幕等、第三者による編集によって情報が構成されていること、それらの情報を読み比べることをとおして、その表現の仕方などを評価している。</p> <p><b>【Cへの支援】</b> 教材そのものが、新聞やテレビが部分の集まりによって構成されていることを学ぶための活動になっている。教科書教材のみでは理解しにくい場合は、より日常的な報道を扱い、新聞記事、テレビニュースが、どのようにできているのかについてワークシート等を用いてメモを取らせ、報道が、第三者の工夫によって、受け手にわかりやすく伝えられていることが理解できるよう支援する。</p> <p><b>◇言語についての知識・理解・技能</b></p> <p><b>【Bの判定基準】</b> 事実を伝える適切な語句に注意して、言葉に関する知識を広げ、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p><b>【Aの具体的な姿の例】</b> 新聞報道における、本文、リード文、見出しに使われる語句、ニュース番組で使用される語句について着目し、それぞれの特性を理解したうえで、表現に生かしている。</p> <p><b>【Cへの支援】</b> 新聞やテレビニュースから語句を拾わせながら、断定、推定、意見、伝聞など、使用する語句によって情報の質が変わることを確認させていく。説明的文章の学習で行う、事実と意見の区別を思い出させる。</p> |
| 言葉の小窓<br>2<br>慣用句・ことわざ<br><br>言葉（解説）<br>2 | 1 | ●慣用句とことわざのはたらきや使い方を理解する。 | 1 慣用句やことわざの例を知ることとおして、自身の言葉を増やしたり言葉に対する興味・関心を深めたりする。 | 伝国(1)イ(イ) | <p><b>◇国語への関心・意欲・態度</b></p> <p>・慣用句やことわざなど生活言語に興味・関心をもとうとしている。</p> <p><b>◇言語についての知識・理解・技能</b></p> <p>・慣用句やことわざなどに関する知識を広げ、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> | <p><b>◇国語への関心・意欲・態度</b></p> <p><b>【Bの判定基準】</b> 慣用句やことわざなどの理解に取り組もうとしている。</p> <p><b>【Aの具体的な姿の例】</b> 慣用句やことわざを理解し、日常生活での使い方を見直そうとしている。</p> <p><b>【Cへの支援】</b> 比較的容易な語例を紹介し、身近にある慣用句やことわざに関心をもたせる。</p>   |

|    |        |  |   |  |  |   |  |  |
|----|--------|--|---|--|--|---|--|--|
|    |        | 慣用句・ことわざ   |   |  |  |   | <p>◇言語についての知識・理解・技能</p> <p>【Bの判定基準】慣用句やことわざに関する知識を広げ、使い方について確認し、理解している。</p> <p>【Aの具体的な姿の例】慣用句やことわざの分類方法や語源などについて広く深く調べ、正確に説明している。</p> <p>【Cへの支援】個別の追加ワークシート等に誤用例などを記載しておき、正しい意味を理解できるよう配慮する。</p>             |  |
|    |        | <p>文法の小窓</p> <p>1<br/>活用のない付属語</p> <p>文法（解説）</p> <p>1<br/>活用のない付属語</p> | 2 | <p>●付属語の用法を知り、自分で考えてみる。</p>  | <p>1 助詞の違いが文の意味に与える影響について知り、助詞の種類と基本的なはたらきについて理解する。</p> <p>2 それぞれの助詞の特徴と主な用法について理解する。</p>                                  | <p>内容の取扱い 2</p> <p>(1)ア<br/>(2年 伝国(1)イ(エ))</p>                            | <p>◇国語への関心・意欲・態度</p> <p>・助詞の違いが文の意味に与える影響などに目を向けようとしている。</p> <p>◇言語についての知識・理解・技能</p> <p>・助詞のはたらきについて、個々の用例を振り返り、体系的に理解している。</p>  | <p>◇国語への関心・意欲・態度</p> <p>【Bの判定基準】「考えよう」「確かめよう」などの設問を振り返ることを通じて、助詞の違いが文の意味に与える影響などに目を向けようとしている。</p> <p>【Aの具体的な姿の例】「考えよう」「確かめよう」などを活用して、助詞についての学習を、自分で進め、他の領域の学習にも生かそうとしている。</p> <p>【Cへの支援】「考えよう」「確かめよう」の中で、正答できなかった設問を丁寧に振り返り、用法などを確かめるよう支援する。</p> <p>◇言語についての知識・理解・技能</p> <p>【Bの判定基準】付属語のうち、活用のない助詞について、どのような種類があり、どのような用法があるのかを理解している</p> <p>【Aの具体的な姿の例】助詞の種類や用法について理解し、さらに紛らわしいものどうしの区別をしている。</p> <p>【Cへの支援】P243 下段の「助詞の分類」を使って、これまで学習してきたことを振り返り、助詞の種類やはたらきについて、用例を参考にして理解を深められるように支援する。</p> |
| 9月 | 四論理を問う | 歴史は失われた過去か   | 3 | <p>●「歴史の記憶」の価値とはどのようなことか、筆者の考えに対する自分の意見をもつ。</p> <p>●事例の取り上げ方や述べ方の工夫を捉え、筆者の提起している課題を共有する。</p> | <p>1 筆者のいう「記憶」と「知識」の違いを考えながら本文を読み、「歴史の記憶」について理解を深める。</p> <p>2 筆者の説明の工夫を読み取り、文章の内容理解とどのように関連しているか考える。</p> <p>3 筆者のいう「歴史</p> | <p>C(1)イ<br/>C(1)ウ<br/>C(1)エ<br/>伝国(1)イ(イ)<br/><b>言語活動例</b><br/>C(2)イ</p> | <p>◇国語への関心・意欲・態度</p> <p>・共通するテーマをもつ二つの文章を比較して読もうとしている。</p> <p>◇読心能力</p> <p>・文章を読み比べるなどして、構成や表現の仕方について評価し、筆者の考えに対する自分の意見をもっている。</p> <p>・筆者の主張について、用語の説明を丁寧に理解しつつ、主張の根拠となる事実や事例について、共感、賛成、疑問などの判断を行い、適切に関係</p> | <p>◇国語への関心・意欲・態度</p> <p>【Bの判定基準】「歴史」「過去」に視座をおいた論説と「将来」を志向する論説とを読み比べ、「現在」を生きる「私たち」として、これからの時代を見つめ、ものの見方、考え方を捉え直して読もうとしている。</p> <p>【Aの具体的な姿の例】「歴史」「過去」に視座をおいた論説と「将来」を志向する論説とを読み比べ、「現在」を生きる「私たち」として、これからの時代を見つめ、ものの見方、考え方を捉え直し、「自分の意見」を明確にして読もうとしている。</p> <p>【Cへの支援】二つの文章を読み終えたあと、漠然と比較を促すのではなく、「二つの文章に共通するテーマはなんだろう」「テーマに対する二つの文章の対照的なアプローチを指摘しよう」「二</p>   |

と人間の結びつき」について、具体的にはどのようなことか話し合う。

づけながら読んでいる。

**◇言語についての知識・理解・技能**

・筆者の言葉の使い分けに注意して読み、言葉に関する知識を広げ、語感を磨き語彙を豊かにしている。

つの文章の説明の仕方の違いを考えよう」という三点について、グループで話し合わせる。話し合いの様子を観察しながら、話し合いの手がかりとして、P95の「ここが大事」を適宜取り上げることでも考えたい。

**◇読む能力**

**【Bの判定基準】**文章を読み比べるなどして、構成や表現の仕方について評価し、筆者のいう「歴史と人間の結びつき」に対する自分の意見をもっている。

筆者の主張について、「歴史」と「過去」、「記憶」と「知識」など差異が見きわめにくい用語（概念）の説明を丁寧に理解しつつ、主張の根拠となる事実や事例について、共感、賛成、疑問などの判断を行い、適切に関係づけながら読んでいる。

**【Aの具体的な姿の例】**文章を読み比べるなどして、構成や表現の仕方について評価し、筆者のいう「歴史と人間の結びつき」に対して、「創造的に生きる」ことにもふれながら、自分の意見をもっている。

筆者の主張について、「歴史」と「過去」、「記憶」と「知識」など差異が見きわめにくい用語（概念）の説明を、自分の周囲の事例や事物と結びつけて適切に理解しつつ、主張の根拠となる事実や事例について、共感、賛成できる部分と疑問に思われる部分とを区別する判断とその理由を明確にししながら、適切に関係づけて読んでいる。

**【Cへの支援】**「私の歴史」と「私の過去」、「私の記憶」と「私の知識」というように、「私」を補って自分にひきつけてグループで話し合わせ、「歴史」と「過去」、「記憶」と「知識」の違いについて捉える手がかりとなるようにする。

繰り返されている接続語をグループで探させ、それらが筆者の説明においてどのような効果をあげているか話し合わせる。話し合いの様子を観察しながら、接続語が二種類であることや、それぞれが用いられている回数などを適宜助言することでも考えたい。

「歴史と人間の結びつき」を考察するための「新しい視点」とはなんだったのか、グループで話し合わせる。

**◇言語についての知識・理解・技能**

**【Bの判定基準】**対比的、抽象的な語句など、筆者の言葉の使い分けに注意して読み、言葉に関する知識を広げ、語感を磨き語彙を豊かにしている。

|            |                  |  |  |   |  |  |
|------------|------------------|--|--|---|--|--|
|            |                  |  |  |   |  | <p><b>[Aの具体的な姿の例]</b> 対比的, 抽象的な語句など, 筆者の言葉の使い分けを的確に理解して読み, 類義語や同音異義語まで言葉に関する知識を広げ, 語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p><b>[Cへの支援]</b> 「知識」と「記憶」, 「観る」と「見る」など対比的に用いられている言葉や, 「歴史」「文化」「判断」「弱さ」など抽象的な語句の意味をグループで考えさせる。</p>  |
| 文化としての科学技術 | 5<br>(内, 書<br>2) | <p>● 筆者は現代の「科学技術」をどのように捉えているのか, 筆者の考えに対する自分の意見をもつ。</p> <p>● 事例と主張の関係を捉え, 筆者の提起している課題を共有する。</p> | <p>1 筆者の確信と問題意識は何を根拠に書かれているのかを整理しながら読む。</p> <p>2 筆者の論理の展開や表現の仕方の工夫を整理しながら読み, 自分の考えをまとめる。</p> <p>3 筆者のいう「科学技術と人間との関係」「科学技術を文化として捉える」に対する自分の考えを話し合い, その考えを深める。</p> | <p>C(1)イ<br/>C(1)ウ<br/>C(1)エ<br/>伝国(1)イ(イ)<br/><b>言語活動例</b><br/>C(2)イ</p> | <p>◇<b>国語への関心・意欲・態度</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・共通するテーマをもつ二つの文章を比較して読もうとしている。</li> </ul> <p>◇<b>読む能力</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章を読み比べるなどして, 構成や表現の仕方について評価し, 筆者の考えに対する自分の意見をもっている。</li> <li>・筆者の主張について, その理由や根拠となる事実や事例について, 共感, 賛成, 疑問などの判断を行い, 適切に関係づけながら読んでいる。</li> </ul> <p>◇<b>言語についての知識・理解・技能</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・筆者の考えを適切に表す言葉や表現に注意して, 言葉に関する知識を広げ, 語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> </ul> | <p>◇<b>国語への関心・意欲・態度</b></p> <p><b>[Bの判定基準]</b> 「歴史」「過去」に視座をおいた論説と「将来」を志向する論説とを読み比べ, 「現在」を生きる「私たち」として, これからの時代を見つめ, ものの見方, 考え方を捉え直して読もうとしている。</p> <p><b>[Aの具体的な姿の例]</b> 「歴史」「過去」に視座をおいた論説と「将来」を志向する論説とを読み比べ, 「現在」を生きる「私たち」として, これからの時代を見つめ, ものの見方, 考え方を捉え直し, 「自分の意見」を明確にして読もうとしている。</p> <p><b>[Cへの支援]</b> 二つの文章を読み終えた後, 漠然と比較を促すのではなく, 「二つの文章に共通するテーマはなんだろう」「テーマに対する二つの文章の対照的なアプローチ(視座)を指摘しよう」「二つの文章の説明の仕方の違いを考えよう」という三点について, グループで話し合わせる。話し合いの様子を観察しながら, 話し合いの手がかりとして, P95の「ここが大事」を適宜取り上げることでも考えたい。</p> <p>◇<b>読む能力</b> <b>[Bの判定基準]</b> 文章を読み比べるなどして, 構成や表現の仕方について評価し, 筆者のいう「科学技術と人間の関係」に対する自分の意見をもっている。筆者の主張について, 筆者自身の体験をもとにした理由や根拠となる事実や事例について, 段落ごとに共感, 賛成, 疑問などの判断を行い, 適切に区別したり関係づけたりしながら読んでいる。</p> <p><b>[Aの具体的な姿の例]</b> 文章を読み比べるなどして, 構成や表現の仕方について評価し, 筆者のいう「科学技術と人間の関係」に対して, 「新たな目で捉え直す」ことにもふれながら, 自分の意見をもっている。筆者の主張について, 筆者自身の体験をもとにした理由や根拠となる事実や事例について, 段落ごとに共感, 賛成, 疑問などの判断とその理由の明確化を行い, 適切に区別したり関係づけたりしながら読んでいる。</p> <p><b>[Cへの支援]</b> 筆者の二つの見解(「人間が火星に住むという確信」,</p> |

|  |   |  |  |  |  |   |
|--|---|--|--|--|--|---|
|  |   |  |  |  |  | <p>『人工物』の中で人間がだまされる危険性への問題意識」とその論拠となる部分はどこかをグループで話し合わせる。筆者の二つの見解から導かれた筆者の主張・提起（科学の位置づけ）をグループで探させる。</p> <p><b>◇言語についての知識・理解・技能</b></p> <p><b>[Bの判定基準]</b>形式名詞やキーワードとなる語句、文末表現など、筆者の考えを適切に表す言葉や表現に注意して、言葉に関する知識を広げ、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p><b>[Aの具体的な姿の例]</b>形式名詞やキーワードとなる語句、文末表現など、筆者の言葉の使い方や表現の仕方を的確に理解して読み、類義語や対義語などまで言葉に関する知識を広げ、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p><b>[Cへの支援]</b>形式名詞のはたらきについて復習させる。</p> <p>「本物」「偽物」「環境」「本能」「文化」「科学技術」など抽象的な語句の意味をグループで考えさせる。</p> |
|  |   | <p>4 内山氏と毛利氏の文章の特徴について書かれた「ここが大事」の段落A・Bに、具体例や解説を加筆・修正しながら詳しく書き直す。</p> <p>5 二つの文章を比較して読み、これからの時代について、自分の考えを四百字程度で文章にまとめる。</p> | B(1)ア  | <p><b>◇書く能力</b></p> <p>・社会生活の中から「これからの時代」について話題をしぼり、二つの文章を読み比べながら自分の考えをまとめている。</p> | <p><b>◇書く能力</b></p> <p><b>[Bの判定基準]</b>社会生活の中から「これからの時代」について話題をしぼり、二つの文章の筆者の主張を取り上げながら自分の考えをまとめている。</p> <p><b>[Aの具体的な姿の例]</b>社会生活の中から「これからの時代」について話題をしぼり、二つの文章の筆者の主張を取り上げながら、自分の生活における「新しい発見」として自分の考えをまとめている。</p> <p><b>[Cへの支援]</b>二つの文章の筆者の主張の中で最も大切だと考えられる一文（一部分）はどれかをグループで話し合わせる。</p> <p>社会生活、特に自分の生活の中から、二つの文章の筆者の主張に関わる事例をグループ内で互いにおげさせる。筆者のそれぞれの主張に肯定的・否定的・どちらでもない事例を広くあげるよう助言する。</p> |   |
| <p><b>【書く】</b></p> <p>図表などの資料から文章を書く</p> | 4 | <p>●図表を読み取り、条件をふまえ、意見文を書く。</p> <p>●引用の仕方や論理の展開に注意し、文章を書く。</p>  | <p>1 課題を確認して、資料を正確に読み取る。</p> <p>2 構成や字数など、課題に示された条件を踏まえ、意見文を書く。</p> <p>3 言葉づかいや論</p> | <p>B(1)イ<br/>伝国(1)イ(イ)<br/><b>言語活動例</b><br/>B(2)ア</p>                              | <p><b>◇国語への関心・意欲・態度</b></p> <p>・図表などから読み取れることをもとに、自分の考えを文章にまとめようとしている。</p> <p><b>◇書く能力</b></p> <p>・資料の引用の仕方や論理の展開に注意して、説得力のある意見文を書いている。</p>  | <p><b>◇国語への関心・意欲・態度</b></p> <p><b>[Bの判定基準]</b>図表などから読み取れることをもとに、自分の考えを文章にまとめようとしている。</p> <p><b>[Aの具体的な姿の例]</b>図表などから読み取ったことに、自分の考えや体験などを盛りこみながら、説得力のある文章にまとめようとしている。</p> <p><b>[Cへの支援]</b>図表の読み取り方について指導したり、教科書P99の「生徒が書いた下書きの例」に対する自分の意見を書き出させた</p>  |

|     |  |   |                           |  |                                |   |   |
|-----|--|---|---------------------------|--|--------------------------------|---|---|
|     |  |   |                           | <p>理の展開などに注意して、推敲する。</p> <p>4 文章を読み合い、資料から読み取ったことについて話し合う。</p>   |                                | <p>◇言語についての知識・理解・技能</p> <p>・図表などから読み取ったことを伝える表現の仕方に注意して、言葉に関する知識を広げ、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p>                                    | <p>りする。</p> <p>◇書く能力</p> <p>【Bの判定基準】資料の引用の仕方や論理の展開に注意して、説得力のある意見文を書いている。</p> <p>【Aの具体的な姿の例】資料から論旨に合った箇所を正しく引用し、自分なりの解釈や体験を引用と関連づけながら、説得力のある意見文を書いている。</p> <p>【Cへの支援】図表の読み取り方や引用の仕方について指導し、読み取った内容について体験と関連づけるための手がかりを与える。</p> <p>◇言語についての知識・理解・技能</p> <p>【Bの判定基準】図表などから読み取ったことを伝える表現の仕方に注意して、言葉に関する知識を広げ、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>【Aの具体的な姿の例】図表などから読み取ったことを説得力のあるかたちで伝えるために、意識的かつ具体的に表現の仕方を工夫している。</p> <p>【Cへの支援】指導書の文例や他の論理的な文章から参考になるような表現を提示し、意見文の中で用いるように指導する。</p> |
| 10月 | <p>言葉の小窓<br/>3<br/>敬語(社会の中での活用)</p> <p>言葉(解説)<br/>3<br/>敬語(社会の中での活用)</p> | 2 | <p>●敬語の社会的役割について理解する。</p> | <p>1 『言葉の小窓 3 敬語』を読んで課題意識をもち、敬語を社会の中で活用するための練習として「確かめよう」の課題に取り組む。</p> <p>2 「確かめよう」のインタビューの言葉や、依頼の手紙を發表し合い、敬語の適切な使い方を学ぶ。さらに敬語の誤用やゆれについて考える。</p> | 伝国(1)イ(ア)                      | <p>◇国語への関心・意欲・態度</p> <p>・敬語の社会的役割を理解し、日常生活で適切に使用している。</p> <p>◇言語についての知識・理解・技能</p> <p>・敬語の社会的役割を理解し、さまざまな場面で適切に敬語を使っている。</p> | <p>◇国語への関心・意欲・態度</p> <p>【Bの判定基準】敬語を適切に使用するための課題に取り組もうとしている。</p> <p>【Aの具体的な姿の例】敬語を使った文章や会話において、敬語使用の適否を判断しようとしている。</p> <p>【Cへの支援】敬語を使った文章や会話の作成にグループ学習を取り入れ、学び合える場面をつくる。</p> <p>◇言語についての知識・理解・技能</p> <p>【Bの判定基準】尊敬語、謙譲語、丁寧語を誤りなく選択し、インタビューの言葉を組み立てている。</p> <p>【Aの具体的な姿の例】相手の反応や人柄に応じて、敬語の使い方をコントロールし、その場によりふさわしいものに行おうとしている。</p> <p>【Cへの支援】敬語の誤用部分を指摘し、敬語の分類やはたらきについて確認のうえ、修正させる。</p>  |
|     | <p>文法の小窓<br/>2<br/>活用のある</p>   | 2 | <p>●付属語の役割について理解する。</p>   | <p>1 助動詞の役割を理解し、その種類とはたらきを整理す</p>  | 内容の取扱い 2<br>(1)ア<br>(2年 伝国(1)イ | <p>◇国語への関心・意欲・態度</p> <p>・助動詞の意味が文の意味に与える影響などに目を向けようとしている。</p>   | <p>◇国語への関心・意欲・態度</p> <p>【Bの判定基準】「考えよう」「確かめよう」などの内容を振り返ることを通じて、助動詞の意味が文の意味に与える影響などに目を向</p>   |

|         |  |   |   |  |  |  |  |
|---------|--|---|---|--|--|--|--|
|         | 付属語<br><br>文法（解説）<br>2<br>活用のある<br>付属語 |   |   | る。<br>2 活用表などを利用して助動詞の意味や用法、接続の仕方について理解を深める。   | (エ))   | ◇言語についての知識・理解・技能<br>・助動詞のはたらきについて理解し、文章を読んだり書いたりする際に学んだ知識を役立て、活用表などを使って知識を体系的に整理している。  | けようとしている。<br>【Aの具体的な姿の例】「考えよう」や『文法の小窓 2 活用のある付属語』を活用して、助動詞についての学習を、自分で進めようとしている。<br>【Cへの支援】「考えよう」や『文法の小窓 2 活用のある付属語』の中で、正答できなかった設問を丁寧に振り返り、用法を確かめるよう支援する。<br>◇言語についての知識・理解・技能<br>【Bの判定基準】文中の助動詞の役割について理解し、説明している。<br>【Aの具体的な姿の例】助動詞の役割を理解し、「話すこと・聞くこと」「書くこと」などの他領域においても、助動詞の役割を意識して使っている。<br>【Cへの支援】それぞれの助動詞の用例文を振り返らせたり、P248～249の「助動詞活用表」を活用して、助動詞についての知識を整理させる。  |
|         | 漢字の練習<br>3                             | — | —   | —  | 伝国(1)ウ(ア)<br>伝国(1)ウ(イ)                                   | —  | —  |
| 五文化をつなぐ | 旅への思い                                  | 3 | ●情景や心情について話し合ったり、古典の一節を引用した文章を書いたりする。<br>●歴史的背景に注意しながら読み、文章の特徴を理解して味わう。 | 1 教材冒頭部を読み、芭蕉や『おくのほそ道』について知る。また、「旅立ち」の部分を読み、芭蕉の旅に対する思いについて文章にまとめる。<br>2 「平泉」を読み、平泉の情景とそこを訪れた時の芭蕉の心情を想像し、発表する。<br>3 「立石寺」を読み、立石寺の情景とそこを訪れた時の芭蕉の心情を想像し、発表する。また、本 | 伝国(1)ア(ア)<br>伝国(1)ア(イ)<br>C(1)ア<br><b>言語活動例</b><br>C(2)ア | ◇国語への関心・意欲・態度<br>・関心をもった俳句を選び、紹介文を書こうとしている。<br>◇読む能力<br>・各場面の情景や心情について話し合ったり、印象に残った句を引用してその内容を紹介する文章を書いたりしている。<br>・歴史的背景に注意しながら読み、表現の特徴を捉えている。<br>◇言語についての知識・理解・技能<br>・各場面の情景やそこに示されている心情を表現する語句に着目して、表現の特徴を捉えている。 | ◇国語への関心・意欲・態度<br>【Bの判定基準】関心をもった俳句を選び、引用して紹介文を書こうとしている。<br>【Aの具体的な姿の例】関心をもった俳句を選び、自分なりの考えをまじえて紹介文を書こうとしている。<br>【Cへの支援】「みちしるべ」の例文を示し、書き方を確認させる。<br>◇読む能力<br>【Bの判定規準】これまでに学習した表現技法を踏まえ、描かれた情景や俳句にこめられた芭蕉の心情を想像して話し合ったり、選んだ句を引用して内容を紹介する文章を書いたりしている。<br>歴史的背景に注意しながら各章段や句を読み、表現の特徴を捉えて読み味わっている。<br>【Aの具体的な姿の例】これまでに学習した表現技法を踏まえ、情景や俳句にこめられた芭蕉の心情を想像して話し合ったり、選んだ句を引用して自分の考えもまじえながら内容を紹介する文章を書いたりしている。<br>歴史的背景を踏まえたうえで、各章段や俳句における表現の効果を捉えながら読み味わっている。 |

|       |                  |   |  |   |   |  |
|-------|------------------|---|--|---|---|--|
|       |                  |   | 文中から印象的な表現を見つけ出し、引用して文章を書く。  |   |   | <p><b>【Cへの支援】</b> どれか一つの句を視写させ、対句、切れ字、体言止めの定義を再確認させ、感想を述べさせる。</p> <p>芭蕉の思いが表れている箇所を音読させ、感想を述べさせる。</p> <p><b>◇言語についての知識・理解・技能</b></p> <p><b>【Bの判定基準】</b> 芭蕉の心情が表れている情景描写を抜き出し、芭蕉の心情を想像している。</p> <p><b>【Aの具体的な姿の例】</b> 芭蕉の心情が表れている情景描写や語句を抜き出し、その効果について解説している。</p> <p><b>【Cへの支援】</b> それぞれの場面を読み、情景や心情に関する語句を確認させる。</p>   |
| 和歌の調べ | 4<br>(内, 書<br>1) | <p>●古人のものの見方や考え方について、話し合ったり、文章を書いたりして、自分の考えを深める。</p> <p>●和歌の技法や歴史的背景を理解しながら、響きを味わう。</p> | <p>1 三大和歌集について学ぶ。また、和歌の意味を考えながら和歌を音読し、その響きを味わう。</p> <p>2 和歌を一首選んで書き写し、その歴史的背景や作者の心情について、調べたり考えたりする。</p> <p>3 自然や人間に対する作者の思いについて考えをまとめ、友達と交流する。</p> | <p>伝国(1)ア(ア)<br/>伝国(1)ア(イ)<br/>C(1)エ<br/><b>言語活動例</b><br/>C(2)ア</p> | <p><b>◇国語への関心・意欲・態度</b></p> <p>・和歌にこめられた作者のものの見方や考え方に関心を持ち、鑑賞文を書こうとしている。</p> <p><b>◇読む能力</b></p> <p>・古人のものの見方や考え方を捉え、友達と話し合ったり文章を書いたりして、自分の考えを深めている。</p> <p>・和歌の技法や句切れなどの特徴や作品の歴史的背景を理解しながら、歌の響きやリズムを味わって読んでいる。</p> <p><b>◇言語についての知識・理解・技能</b></p> <p>・和歌の技法や句切れなどの特徴を理解している。</p> | <p><b>◇国語への関心・意欲・態度</b></p> <p><b>【Bの判定基準】</b> 和歌にこめられた作者のものの見方や考え方に関心を持ち、すすんで鑑賞文を書こうとしている。</p> <p><b>【Aの具体的な姿の例】</b> 和歌にこめられた作者のものの見方や考え方に関心を持ち、すすんで鑑賞文を書き、周りの学習者と意見を交流しながら学習しようとしている。</p> <p><b>【Cへの支援】</b> 小学校からの古典学習を振り返らせ、既出の文章を思い出させることで、前向きな気持ちをもたせる。</p> <p><b>◇読む能力</b></p> <p><b>【Bの判定基準】</b> 和歌にこめられた作者のものの見方や考え方を捉え、友達と話し合ったり文章を書いたりして、自分の考えを深めている。</p> <p>和歌の技法や句切れなどの特徴や作品の歴史的背景を理解しながら、歌の響きやリズムを味わって読んでいる。</p> <p><b>【Aの具体的な姿の例】</b> 和歌にこめられた作者のものの見方や考え方を捉え、作者と自分の考えとの比較、当時と現代の時代背景の比較などをしながら歌の響きを味わって読み、友達と話し合ったり文章を書いたりして、自分の考えを深めている。</p> <p><b>【Cへの支援】</b> 語句の一つ一つの意味を説明し、和歌に描かれている状況と、作者の気持ちをそれぞれ想像させたうえで読ませる。</p> <p><b>◇言語についての知識・理解・技能</b></p> <p><b>【Bの判定基準】</b> 和歌の技法や句切れなどの特徴を理解している。</p> <p><b>【Aの具体的な姿の例】</b> それぞれの和歌の技法や句切れ、リズムやそれらに基づく全体の印象などについて説明している。</p> <p><b>【Cへの支援】</b> 和歌の技法や句切れなどについて説明し、どのような印象を受けるかを考えさせる。</p> |

|     |                   |   |  |   |   |  |  |
|-----|-------------------|---|--|---|---|--|--|
|     |                   |   |  | 4 歌の背景や作者について調べたり、詠まれている情景や自然を想像したりして鑑賞文を書き、書いた文章を交流する。                                     | B(1)イ                                     | ◇書く能力<br>・論理の展開に工夫しながら、説得力のある文章を書いている。   | ◇書く能力<br>【Bの判定基準】和歌を読んで、人間、社会、自然のいずれかについて、自分の意見を書いている。<br>【Aの具体的な姿の例】和歌を読んで、人間、社会、自然の複数の項目について互いに関連させながら、自分の意見を書いている。<br>【Cへの支援】和歌にこめられた内容を振り返らせ、現代に生きる自分の気持ちや状況と比較させ、気づいたことを書かせる。   |
|     | 【書く】<br>和歌の鑑賞文を書く | 3 | ●自分の表現を高めるために、和歌の鑑賞文を書く。<br>●より適切な表現を目ざし、文章全体を整える。 | 1 和歌を読んで、興味をもったことや感じたことを中心にして、鑑賞文を書く。<br>2 書いた文章を推敲して、文章全体を整える。<br>3 書いた文章を読み合い、感想をもとに交流する。 | B(1)ウ<br>伝国(1)ア(イ)<br><u>言語活動例</u><br>(*) | ◇国語への関心・意欲・態度<br>・自分の表現を高めるために、関心のある和歌を取り上げ、鑑賞文を書こうとしている。<br>◇書く能力<br>・書いた文章を読み返して、文章全体を整えている。<br>◇言語についての知識・理解・技能<br>・和歌の表現を引用して、古典に関する鑑賞文を書いている。 | ◇国語への関心・意欲・態度<br>【Bの判定基準】自分の表現を高めるために、関心のある和歌を取り上げ、鑑賞文を書こうとしている。<br>【Aの具体的な姿の例】関心のある和歌を取り上げ、理由や根拠を明確にして、構成を工夫した鑑賞文を書こうとしている。<br>【Cへの支援】和歌の大意をもとに、鑑賞文にする和歌を選定させる。<br>鑑賞文を書くにあたり、興味・関心のある箇所をあげさせる。<br>◇書く能力<br>【Bの判定基準】書いた文章を読み返して、文章全体を整えている。<br>【Aの具体的な姿の例】感情を表す言葉などについて、類語辞典などを使ってよりよい表現に改めようとしたり、接続表現について最終的な文章の意味を整えるために文章どうしの関係を踏まえたより適切なものにししたりするなど、書いた文章を適切に整えている。<br>【Cへの支援】教科書P123の「下書きの例」の「感情」「誇張」「すると」に対する言いかえを踏まえて、自分の文章の中に同様の言葉がないか見つけさせる。表現に不安のある語句を確認して、傍線を引くなどさせる。<br>◇言語についての知識・理解・技能<br>【Bの判定基準】和歌の表現を引用して、古典に関する鑑賞文を書いている。<br>【Aの具体的な姿の例】和歌の表現を引用して、古典常識や歴史的背景を調べたうえで、説得力のある鑑賞文を書き上げている。<br>【Cへの支援】和歌の大意を活用して、和歌の原文の表現に関心をもたせる。和歌の原文から、現代語にはみられない表現に着目させる。 |
| 11月 | 風景と心情             | 3 | ●歴史的背景をふまえて話し合い、情景の描写を捉                            | 1 漢文の基本的なきまりについて復習し、漢詩の基本的  | 伝国(1)ア(ア)<br>C(1)ア<br><u>言語活動例</u>        | ◇国語への関心・意欲・態度<br>・漢詩の表現の工夫に興味をもち、学習しようとしている。   | ◇国語への関心・意欲・態度<br>【Bの判定基準】漢文の訓読法を振り返りながら漢詩の表現の工夫を確認し、漢詩を読もうとしている。   |

|       |   |  |  |   |  |   |
|-------|---|--|--|---|--|---|
|       |   | え、心情を理解して考えを深める。<br>●詩の形式や表現の工夫などを理解して暗唱し、作品の響きを味わう。 | なきまりについて<br>学んだあと、『黄鶴楼にて孟浩然の広陵に之くを送る』『春望』を音読する。<br>2 『黄鶴楼にて孟浩然の広陵に之くを送る』『春望』の内容を把握し、歴史的背景を踏まえて作者の心情を考える。<br>3 『黄鶴楼にて孟浩然の広陵に之くを送る』『春望』を、情景や作者の心情とその表現の仕方について批評し、言葉の響きやリズムに注意して暗唱する。 | C(2)ア                                       | ◇読む能力<br>・漢詩の歴史的背景を踏まえ、情景の描写や作者の心情を理解して、自分の考えを深めている。<br>・語句の効果的な使い方、表現上の工夫に注意して読んでいる。<br>◇言語についての知識・理解・技能<br>・漢詩の形式を知り、その言葉の響きやリズムなどに注意して暗唱している。               | <p><b>[Aの具体的な姿の例]</b> それぞれの漢詩について、対句や押韻の位置など、形式による違いについても興味をもって学習しようとしている。</p> <p><b>[Cへの支援]</b> 漢詩が、起承転結という構成や、押韻・対句などのきまを守ったうえで作られていることを二つの詩で確認させる。</p> <p>◇読む能力</p> <p><b>[Bの判定基準]</b> 漢詩の歴史的背景を踏まえ、世の中のありさまと自然の風物、人間の姿との対比などを捉えて、自分の考えを深めている。</p> <p>起承転結の展開や情景描写における近景から遠景への視点の移り変わりなどを捉えて読んでいる。</p> <p><b>[Aの具体的な姿の例]</b> 漢詩の歴史的背景を踏まえ、情景の描写や人物の姿、作者の心情を結びつけながら理解し、自分の考えを深めている。</p> <p>起承転結の展開や視点の移り変わり、対比などを意識することが、より深い心情の読み取りにつながることを指摘している。</p> <p><b>[Cへの支援]</b> 起承転結の展開や対比の構造を図示したり、視点の移り変わりについて再確認したりしたうえで、詩に表れた心情を考えさせる。</p> <p>◇言語についての知識・理解・技能</p> <p><b>[Bの判定基準]</b> 七言絶句や五言律詩の形式、起承転結の構成や対句について理解し、書き下し文を暗唱している。</p> <p><b>[Aの具体的な姿の例]</b> それぞれの詩の形式、構成や対句を意識し、言葉の響きやリズムを生かして書き下ろし文を暗唱している。</p> <p><b>[Cへの支援]</b> 絶句における起承転結や、律詩の二句ずつの対となる構成を再確認しながら繰り返し書き下ろし文を音読させる。</p> |
| 最後の一句 | 2 | ●わが国を代表する作家とその作品についてふれ、近代の小説や物語を読む。                  | 1 『最後の一句』を読み、描かれた人物や状況についての感想を発表し合う。<br>2 森鷗外の他の作品の紹介文を作成し、感想を交流する。  | C(1)オ<br>伝国(1)イ(イ)<br><b>言語活動例</b><br>C(2)ウ | ◇国語への関心・意欲・態度<br>・本の選び方や読み方について考えたり、自分の選んだ本を紹介しようとしている。<br>◇読む能力<br>・近代の名作を読み、知識を広げたり、自分の考えを深めたりしている。<br>◇言語についての知識・理解・技能<br>・作品の独特の言葉づかいや語句をとおして、語感を磨き、語彙を豊かに | ◇国語への関心・意欲・態度<br><b>[Bの判定基準]</b> 本の選び方や読み方について考え、選んだ本を紹介しようとしている。<br><b>[Aの具体的な姿の例]</b> 選んだ本を人に伝わるように工夫して紹介しようとしている。<br><b>[Cへの支援]</b> 教科書に紹介されている近代文学について解説をすることで、興味をもたせる。<br>◇読む能力<br><b>[Bの判定基準]</b> 近代の名作を読み、自分の知識や考えを深めている。  |

|                                      |                    |                 |                   |  |  |   |  |
|--------------------------------------|--------------------|-----------------|-------------------|--|--|---|--|
|                                      |                    |                 |                   |  |  | している。   | <p><b>[Aの具体的な姿の例]</b> 近代の名作を目的に応じて読み、作家や当時の時代背景についても考えている。</p> <p><b>[Cへの支援]</b> 教科書に紹介されている近代文学について解説をすることで、興味をもたせる。</p> <p><b>◇言語についての知識・理解・技能</b></p> <p><b>[Bの判定基準]</b> 作品を読むことで語感を磨き、語彙を豊かにしている。</p> <p><b>[Aの具体的な姿の例]</b> 文体の特徴を意識しながら、作品を読み味わっている。</p> <p><b>[Cへの支援]</b> 人物描写や会話文に着目させながら、わからない語彙については解説を加える。</p>   |
|                                      | 漢字の練習<br>4         | —               | —                 | —  | 伝国(1)ウ(ア)<br>伝国(1)ウ(イ)                               | —   | —  |
|                                      | 漢字の広場<br>3<br>異字同訓 | 1               | ●異字同訓についての理解を深める。 | 1 異字同訓について理解し、正しく使うようにする。                                  | 伝国(1)イ(イ)<br>伝国(1)ウ(ア)<br>伝国(1)ウ(イ)                  | <p><b>◇国語への関心・意欲・態度</b></p> <p>・異字同訓に興味をもち、理解を深めようとしている。</p> <p><b>◇言語についての知識・理解・技能</b></p> <p>・異字同訓について理解し、その意味の違いに注意しながら正しく使っている。</p>   | <p><b>◇国語への関心・意欲・態度</b></p> <p><b>[Bの判定基準]</b> 身のまわりの異字同訓を積極的に見つけようとしている。</p> <p><b>[Aの具体的な姿の例]</b> 国語辞典を用いて、積極的に数多くの異字同訓について調べようとしている。</p> <p><b>[Cへの支援]</b> 「みる」「きく」などの基本動作を表す漢字の異字同訓をとおして興味・関心を喚起させる。</p> <p><b>◇言語についての知識・理解・技能</b></p> <p><b>[Bの判定基準]</b> 異字同訓を文脈に応じて正しく選択している。</p> <p><b>[Aの具体的な姿の例]</b> いくつかの異字同訓を用いて、文を作っている。</p> <p><b>[Cへの支援]</b> 小学校学習漢字の中から同じ訓をもつ漢字を探させ、その意味や使い方の違いを考えさせる。</p> |
| 六<br>語<br>り<br>と<br>向<br>き<br>合<br>う | 近代の俳句              | 2<br>(内、書<br>1) | ●言葉の意味を掘り起こして読む。  | 1 『近代の俳句』で紹介されている俳句から、一句を選び、声に出して読むなどしながら情景を捉え、作者の思いを読み取る。 | C(1)ア<br>C(1)ウ<br>伝国(1)ア(ア)<br><b>言語活動例</b><br>C(2)ア | <p><b>◇国語への関心・意欲・態度</b></p> <p>・俳句を読んで、優れた表現や内容を批評しようとしている。</p> <p><b>◇読む能力</b></p> <p>・俳句を比較し、構成や表現の工夫などを評価して読んでいる。</p> <p><b>◇言語についての知識・理解・技能</b></p> <p>・俳句の形式を知り、俳句を声に出して読み、その世界に興味・関心をもって親しんでいる。</p> | <p><b>◇国語への関心・意欲・態度</b></p> <p><b>[Bの判定基準]</b> 俳句のどこに優れた魅力や価値があるか指摘しようとしている。</p> <p><b>[Aの具体的な姿の例]</b> 俳句のどこに優れた魅力や価値があるか具体的に指摘しようとしている。</p> <p><b>[Cへの支援]</b> 俳句の魅力や価値を支えている言葉はどれかを指摘させる。</p> <p><b>◇読む能力</b></p> <p><b>[Bの判定基準]</b> 比較した俳句の構成や表現にどのような魅力があるか評価している。</p>  |

|    |   |                    |   |  |   |   |
|----|---|--------------------|---|--|---|---|
|    |   |                    |   |  |   | <p><b>[Aの具体的な姿の例]</b> 比較した俳句の構成や表現について工夫と効果の両面から評価している。</p> <p><b>[Cへの支援]</b> 比較した俳句のそれぞれのどこが構成や表現の工夫といえるかを指摘させる。</p> <p>◇言語についての知識・理解・技能 <b>[Bの判定基準]</b> 教材の中から自分の好きな俳句を選び、朗読を楽しんでいる。</p> <p><b>[Aの具体的な姿の例]</b> それぞれの俳句の魅力や表現の工夫を踏まえて朗読を工夫している。</p> <p><b>[Cへの支援]</b> それぞれの俳句の魅力や表現の工夫を踏まえ、自分の好きな俳句を選ばせる。</p>  |
|    |   |                    | 2 「歳時記」を活用して「季語」を決め、実際に俳句を作り、俳句に親しむ句会を行う。 | B (1)エ   | <p>◇書く能力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>互いに作った俳句を読み合い、優れた表現の仕方などを評価し自分の表現に役立てている。</li> </ul>  | <p>◇書く能力</p> <p><b>[Bの判定基準]</b> 自分の経験などをもとに俳句を作って、できた作品を交流している。</p> <p><b>[Aの具体的な姿の例]</b> 描こうとする世界が効果的に伝わるように表現を工夫して俳句を作ったり、できた俳句について表現の工夫を交流したりしている。</p> <p><b>[Cへの支援]</b> 他の学習者の作品から創作のためのヒントや手がかりを探させる。</p>  |
| 初恋 | 1 | ●表現上の工夫に注意して、暗唱する。 | 1 「文語定型詩」の特徴を捉えながら、暗唱することをおして詩を味わう。       | <p>C (1)イ</p> <p>C (1)ウ</p> <p>伝国(1)ア(ア)</p> <p><b>言語活動例</b></p> <p>C (2)ア</p> | <p>◇国語への関心・意欲・態度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>詩の表現や内容に注意して、文語定型詩の魅力や理解しようとしている。</li> </ul> <p>◇読む能力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>この詩の特徴が文語定型詩であることを理解している。</li> </ul> <p>◇言語についての知識・理解・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>この詩が生まれた歴史的背景について理解し、詩の内容を理解している。</li> </ul> | <p>◇国語への関心・意欲・態度</p> <p><b>[Bの判定基準]</b> 文語の表現や七五調のリズムに注意しながら、内容を理解したり音読を楽しんだりしようとしている。</p> <p><b>[Aの具体的な姿の例]</b> 文語の表現の意味や七五調のリズムの効果に注意しながら、内容を理解したり、音読を楽しんだりしようとしている。</p> <p><b>[Cへの支援]</b> 文語表現を現代口語表現に変換させたり、実際に声に出して音読させたりして、詩の特徴に気づかせる。</p> <p>◇読む能力</p> <p><b>[Bの判定基準]</b> この詩の特徴として、文語が用いられていることや定型詩であることでリズムがあることを理解している。</p> <p><b>[Aの具体的な姿の例]</b> 「われ」の「君」に対する初恋の気持ちを理解し、表現上の特徴として文語定型詩であることを理解している。</p> <p><b>[Cへの支援]</b> 現在では使われない文語表現を指摘させたり、声に出して読ませたりすることで、文語定型詩であることに気づかせる。</p> <p>◇言語についての知識・理解・技能</p> |

|    |                  |   |  |   |   |  |
|----|------------------|---|--|---|---|--|
|    |                  |   |  |   |   | <p><b>[Bの判定基準]</b> この詩が封建思想から解放された時代に生まれたことを踏まえて、詩の内容を理解している。</p> <p><b>[Aの具体的な姿の例]</b> この詩の「われ」と「君」の清純な初恋の姿を時代との関わりにおいて理解している。</p> <p><b>[Cへの支援]</b> この詩の初恋と現代の初恋との違いについて比較させる。</p>   |
| 故郷 | 7<br>(内, 書<br>1) | <p>●「私」の抱いた「希望」や社会の中での人間の生き方について考え, 自分の意見をもつ。</p> <p>●場面や登場人物の設定のされ方, 構成や展開に着目し, 作品を批評する。</p> | <p>1 小説の全体像をつかむ。作品を五つの場面に分け, それぞれのできごとを時間の順序に従って整理する。</p> <p>2 「私」と「閩土」との出会いを読み, 少年「閩土」が「私」にとって, どのような存在であったのかを考える。</p> <p>3 「楊おばさん」と(大人になってからの)「閩土」と「私」の関係について読み取る。</p> <p>4 故郷の人々の姿が, 「私」の目にはどのように映っていたのか, 読み取ったことや考えたことを話し合う。</p> <p>5 「私」の中の故郷がどうなっているのかを捉え, 「希望」とは何かについて話し合う。</p> <p>6 『故郷』という小説が何を提起して</p> | <p>C(1)イ<br/>C(1)ウ<br/>C(1)エ<br/>伝国(1)イ(イ)<br/><b>言語活動例</b><br/>C(2)ア</p> | <p>◇<b>国語への関心・意欲・態度</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作品を読んで批評したり文章を書いたりしようとしている。</li> </ul> <p>◇<b>読心能力</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「私」の抱いた「希望」の内容を理解し, 社会の中での人間の生き方を考えている。</li> <li>・現在と過去の対比表現に注意して内容を理解し, 作品の構成について考えている。</li> </ul> <p>◇<b>言語についての知識・理解・技能</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉の使い方に注意し, 語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> </ul> | <p>◇<b>国語への関心・意欲・態度</b></p> <p><b>[Bの判定基準]</b> 作品を読み, 自分なりの感想を書こうとしている。</p> <p><b>[Aの具体的な姿の例]</b> 「私」の考えていることを理解し, 社会と人間のあり方について自分の問題と関わらせて考えようとしている。</p> <p><b>[Cへの支援]</b> 「私」の心情の変化に着目させ, 心に残った場面を中心に考えさせてみる。</p> <p>◇<b>読心能力</b></p> <p><b>[Bの判定基準]</b> 「私」の抱いた「希望」の内容を理解している。時間の流れにそって展開を整理している。</p> <p><b>[Aの具体的な姿の例]</b> 「閩土」の「偶像崇拜」と「私」の「希望」を比べ, 自分の意見をもっている。</p> <p>現在の「私」「閩土」「楊おばさん」の人物像を明確に把握している。</p> <p><b>[Cへの支援]</b> 「私」の「希望」がどのような意味で用いられているか考えさせる。</p> <p>できごとを時間の順序に並べ替えた表を作成させる。</p> <p>◇<b>言語についての知識・理解・技能</b></p> <p><b>[Bの判定基準]</b> 表現の仕方に注意して, 「私」の「故郷」に対する思いを読んでいる。</p> <p><b>[Aの具体的な姿の例]</b> 具体的な表現に着目して作品を読み, 「私」の思いの変化について考えている。</p> <p><b>[Cへの支援]</b> 接続詞などに注意させながら, 「私」の思いの変化に気づかせる。</p> |

|     |                    |   |  |   |   |  |   |
|-----|--------------------|---|--|---|---|--|---|
|     |                    |   |  | いるのか、読み取ったこと、考えたことを話し合う。  |   |  |   |
|     |                    |   |  | 7 登場人物の「人物ファイル」を作って、作品が描こうとした人物像を理解する。  | B(1)ア                                     | ◇書く能力<br>・「人物ファイル」を書くことをとおして、自分の考えを深めている。  | ◇書く能力<br>【Bの判定基準】登場人物を観点にそって「人物ファイル」にまとめている。<br>【Aの具体的な姿の例】「私」が捉えた人物像と、自分が読者として読んだ人物像との違いに気づいている。<br>【Cへの支援】思い出の中と、再会した後の人物像が対比的に描かれていることに気づかせる。  |
| 12月 | 【書く】<br>自己PR文を読み合う | 2 | ●中学校生活を振り返り、自己PR文を書く。<br>●文章を読み合い、自分の表現に生かす。 | 1 三年間を振り返り、自分の経験から得られたことなどを、構成や表現の仕方に注意して、自己PR文にまとめる。<br>2 交流カードを活用して、自己PR文を読み合い、自分の文章の参考になる点などを踏まえて清書する。 | B(1)エ<br>伝国(1)イ(イ)<br><b>言語活動例</b><br>(*) | ◇国語への関心・意欲・態度<br>・三年間の中学校生活を振り返り、自分の経験から得られたことを自己PR文にまとめようとしている。<br>◇書く能力<br>・自己PR文を読み合い、論理の展開や表現の仕方を評価して、自分の表現に生かしている。<br>◇言語についての知識・理解・技能<br>・わかりやすい語句を選んだり表現を工夫したりして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 | ◇国語への関心・意欲・態度<br>【Bの判定基準】三年間の中学校生活を振り返り、自分の経験から得られたことを自己PR文にまとめようとしている。<br>【Aの具体的な姿の例】三年間の中学校生活を振り返り、自分の経験から得られたことや自己を深く見つめたことを取り上げ、効果的に伝える自己PR文を書こうとしている。<br>【Cへの支援】学級や学校行事における、自分の委員や係などを取り上げさせ、その時の取り組みについて書き出させる。<br>◇書く能力<br>【Bの判定基準】自己PR文を読み合い、論理の展開や表現の仕方を評価して、自分の表現に生かしている。<br>【Aの具体的な姿の例】自己PR文を読み合い、論理の展開や表現の仕方を評価したうえで、自分の文章にとって適切な工夫を施している。<br>【Cへの支援】自己PR文を読み合い、友達が高まっている話題の中から自分のPR文としての話題にできるものを選ばせる。<br>◇言語についての知識・理解・技能<br>【Bの判定基準】わかりやすい語句を選んだり表現を工夫したりして、語感を磨き語彙を豊かにしている。<br>【Aの具体的な姿の例】自己を適切に表すことができ、かつ、読み手となる相手に応じて語句を選択し、洗練された語彙を身につけている。<br>【Cへの支援】自己PR文の例文を複数用意して、自分が書きやすい話題や文体を模倣させる。 |
|     | 【話す聞く】<br>スピーチで    | 2 | ●経験を整理し、スピーチで自分                              | 1 中学校生活を振り返り、話題を選   | A(1)ア<br>A(1)イ                            | ◇国語への関心・意欲・態度<br>・時間や場の条件に合わせて言葉を選   | ◇国語への関心・意欲・態度<br>【Bの判定基準】時間や場の条件に合わせて言葉を選びながらスピーチ   |

|                             |                |   |  |  |   |  |
|-----------------------------|----------------|---|--|--|---|--|
|                             | <p>学びを振り返る</p> | <p>のよさを伝える。<br/>●敬語を用いて、場の状況や聞き手に応じて話す。</p> | <p>び、構成を工夫して、自己PRのスピーチの準備をする。<br/>2 模擬面接など、場の状況を設定してスピーチを行う。聞き手の立場になったときは、スピーチを聞いて自分の表現の参考にする。最後に互いのスピーチについて評価し合う。</p> | <p>伝国(1)イ(イ)<br/><b>言語活動例</b><br/>A(2)ア</p>  | <p>びながらスピーチをし、自分のよさを伝えようとしている。<br/>◇話す・聞く能力<br/>・三年間の中学校生活の中から話題を決め、自分の経験や知識を整理して考えをまとめ、語句や敬語を効果的に使い、説得力のある話をしている。<br/>◇言語についての知識・理解・技能<br/>・話し言葉の特徴を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> | <p>一ちをし、自分のよさを伝えようとしている。<br/>【Aの具体的な姿の例】時間や場の条件に合わせて聞き手の反応を確認したりと言葉を選びながらスピーチをし、自分のよさを伝えようとしている。<br/>【Cへの支援】教科書P182 下段の「構成を考えるために」をもとに、学校行事などについて具体的に思い起こさせ、自分のよさを発見させる。<br/>◇話す・聞く能力<br/>【Bの判定基準】三年間の中学校生活の中から話題を決め、自分の経験や知識を整理して考えをまとめ、語句や敬語を効果的に使い、説得力のある話をしている。<br/>【Aの具体的な姿の例】聞き手の興味や共感が得られるように、三年間の中学校生活の中から話題を決め、経験や知識を整理して考えをまとめ、語句や敬語を効果的に使い、説得力のある話をしている。<br/>【Cへの支援】教科書P182 上段の2 の話型を提示し、「現在の考えー過去のできごとー未来への展望」の順を追って書き出させる。それでも難しい場合は、中学校で印象に残ったことを授業、部活動、生活、学校行事などから振り返らせて、しぼりこませる。そこから、なぜその学びが印象に残ったのかを考えさせ、その理由を「現在の考え」に置きかえさせる。そして、学んだことが今後どの場面で生きていくか、高校生活や将来をイメージさせうえで書き出させる。<br/>◇言語についての知識・理解・技能<br/>【Bの判定基準】話し言葉の特徴を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。<br/>【Aの具体的な姿の例】話し言葉の特徴を理解し、敬語を正しく用いるなど聞き手を想定した言葉づかいをしている。<br/>【Cへの支援】教科書P183の「スピーチの例」の表現を参考にさせる。</p> |
| <p>漢字の広場<br/>4<br/>四字熟語</p> | <p>1</p>       | <p>●四字熟語についての理解を深める。</p>                    | <p>1 四字熟語について理解し、正しく使うようにする。</p>   | <p>伝国(1)イ(イ)<br/>伝国(1)ウ(ア)<br/>伝国(1)ウ(イ)</p> | <p>◇国語への関心・意欲・態度<br/>・四字熟語について興味をもち、理解を深めようとしている。<br/>◇言語についての知識・理解・技能<br/>・さまざまな四字熟語について理解し、正しく使っている。</p>  | <p>◇国語への関心・意欲・態度<br/>【Bの判定基準】身のまわりの言葉から四字熟語を積極的に見つけようとしている。<br/>【Aの具体的な姿の例】自ら国語辞典を手に取り、四字熟語の意味について確認しようとしている。<br/>【Cへの支援】四字熟語を二つの二字熟語に分けさせ、意味を分析させる。</p>   |

|    |         |                             |   |  |  |   |   |  |
|----|---------|-----------------------------|---|--|--|---|---|--|
|    |         |                             |   |  |  |   | <p>◇言語についての知識・理解・技能</p> <p>【Bの判定基準】意味を理解し、文脈に応じて適切な四字熟語を正しく書き表している。</p> <p>【Aの具体的な姿の例】四字熟語を用いて、二十～三十文字の短文を作っている。</p> <p>【Cへの支援】第一学年で学習した熟語の構成法を示し、内容を類推させる。</p>   |  |
| 1月 | 七対話をひらく | <p>【話す聞く】課題を解決するために話し合う</p> | 4 | <p>●進行の仕方を工夫して、話し合いを深める。</p> <p>●課題の解決に向け、互いの考えを生かし合う。</p> | <p>1 社会生活の中から課題を見つけ、自分の考えをまとめる。</p> <p>2 「話すこと」「聞くこと」の既習事項を確認する。互いの考えを生かし合うための方法を考える。</p> <p>3 話し合いを行い、課題の解決のための「提言」をまとめる。</p> <p>4 話し合いを振り返り、自分の考えや意見をまとめる。</p> | <p>A (1)エ<br/>伝国(1)イ(ア)<br/><b>言語活動例</b><br/>A (2)イ</p> | <p>◇国語への関心・意欲・態度</p> <p>・社会生活の中から議題を決め、進行にそって、相手を説得するために意見を述べ合おうとしている。</p> <p>◇話す・聞く能力</p> <p>・話し合いが効果的に展開するように進行の仕方を工夫し、課題の解決に向けて互いの考えを生かし合っている。</p> <p>◇言語についての知識・理解・技能</p> <p>・適切に敬語などを使い、社会生活の中で適切な言葉づかいなどについて理解している。</p> | <p>◇国語への関心・意欲・態度</p> <p>【Bの判定基準】社会生活の中から議題を決め、進行にそって、相手を説得するために意見を述べ合おうとしている。</p> <p>【Aの具体的な姿の例】主体的に社会生活の中から情報を集めて、議題を決め、進行にそって、相手を説得するために積極的に意見を述べようとしている。</p> <p>【Cへの支援】指導者が作成した議題リストの中から議題を選ばせ、進行表にそって発言させる。</p> <p>◇話す・聞く能力</p> <p>【Bの判定基準】話し合いが効果的に展開するように進行の仕方を工夫し、課題の解決に向けて互いの考えを生かし合っている。</p> <p>【Aの具体的な姿の例】話し合いが効果的に展開するように進行の仕方を積極的に工夫し、課題の解決に向けて互いの考えが生きるような発言をしている。</p> <p>【Cへの支援】他の学習者の発言を参考にして進行にそった発言をさせたり、自分と同じ考えの発言に賛同の意を表明させたりする。</p> <p>◇言語についての知識・理解・技能</p> <p>【Bの判定基準】適切に敬語などを使い、社会生活の中で適切な言葉づかいなどについて理解している。</p> <p>【Aの具体的な姿の例】話し合いの場や相手に応じた言葉づかいで発言している。</p> <p>【Cへの支援】他の学習者の発言の言葉づかいを参考に発言させる。</p> |
|    |         | <p>【話す聞く】「対話力」とは何か</p>      | 1 | <p>(●説得力のある意見を述べ合い、話し合いを深める。)</p> <p>(●互いの考えを生かし合い、課題</p>  | <p>1 「対話力」について理解を深め、多数決によらない解決方法を考える。</p> <p>2 模擬国際環境会議を開くために、問</p>  | <p>A (1)エ<br/>伝国(1)イ(イ)<br/><b>言語活動例</b><br/>A (2)イ</p> | <p>◇国語への関心・意欲・態度</p> <p>社会生活の中から議題を決め、進行にそって、相手を説得するために意見を述べ合おうとしている。</p> <p>◇話す・聞く能力</p> <p>・課題解決に向けて、互いの考えを生</p>  | <p>◇国語への関心・意欲・態度</p> <p>【Bの判定基準】社会生活の中から議題を決め、進行にそって、相手を説得するために意見を述べ合おうとしている。</p> <p>【Aの具体的な姿の例】広く社会に関心をもって議題を選び、会議の進行に気をつけながら、相手に応じた説得の方法を工夫して、意見を述べ合おうとしている。</p>   |

|    |                    |   |  |   |  |  |   |
|----|--------------------|---|--|---|--|--|---|
|    |                    |   | を解決する。)  | <p>題を把握し、必要な資料を収集する。</p> <p>3 グループごとに模擬国際環境会議を開き、対話を進める。</p> <p>4 代表による模擬国際環境会議を傍聴し、実り多い対話にするためには何が必要かを考える。</p> <p>5 模擬国際環境会議での議論の内容を生かし、環境問題の解決策をいくつか見いだす。</p> |  | <p>かし合っている。</p> <p>◇言語についての知識・理解・技能</p> <p>・対話力をめぐる語句に注意して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p>  | <p>【Cへの支援】議題に関わる新聞記事などを提示して、意見をもつためのヒントにさせ、発言のためのメモをノートに書かせる。</p> <p>◇話す・聞く能力</p> <p>【Bの判定基準】課題解決に向けて、互いの考えを生かし合っている。</p> <p>【Aの具体的な姿の例】自分の意見を主張しつつも、相手の考えもよく聞き、結論を思い描きながら、意見交換を進めている。</p> <p>【Cへの支援】それぞれの意見の要点をメモさせ、一致点と相違点を把握できるよう助言を与える。</p> <p>◇言語についての知識・理解・技能</p> <p>【Bの判定基準】対話力をめぐる語句に注意して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>【Aの具体的な姿の例】「多文化共生社会」「プロセス」「価値」「合意（点）」などの語句に着目し、意味をよく理解して適切に使っている。</p> <p>【Cへの支援】意味がよく理解できない語句について、辞書を引かせ、実際に使わせてみる。</p>   |
| 2月 | 【書く】<br>自分の作品集をつくる | 4 | <p>●テーマを決めて、作品集をつくる。</p> <p>●テーマに合った、文章の形態などを選択する。</p> | <p>1 「私の作品集」の作品を選びながら、全体のテーマや構成を考える。</p> <p>2 全体の構成を決め、目次・前書き・後書き・奥付などを書く。</p> <p>3 全体の構成を確認し、表紙を作成して製本する。</p> <p>4 作品集を友達と交換して読み合い、感想を交流する。</p>                | <p>B(1)ア<br/>B(1)イ<br/>B(1)ウ<br/>B(1)エ<br/>伝国(1)イ(イ)<br/>B(2)イ</p> <p><b>言語活動例</b></p> | <p>◇国語への関心・意欲・態度</p> <p>・目的に応じてさまざまな文章などを集め、作品集を編集しようとしている。</p> <p>◇書く能力</p> <p>・課題やテーマなどにそって、さまざまな文章の中から作品を選び、形態などを選択し、構成を工夫して作品集にまとめている。</p> <p>◇言語についての知識・理解・技能</p> <p>・語句の使い分けに注意して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> | <p>◇国語への関心・意欲・態度</p> <p>【Bの判定基準】一つのテーマにそって、さまざまな文章などを集め、作品集を編集しようとしている。</p> <p>【Aの具体的な姿の例】複数のテーマや編集方針を比較しながら、どれがいちばんよいかを考えて、作品集を編集しようとしている。</p> <p>【Cへの支援】記憶に残る過去の文章やその取り組みについて質問をし、複数の作品に関わる内容や書き方の共通点を探らせる。</p> <p>◇書く能力</p> <p>【Bの判定基準】自分で決めたテーマにそった複数の作品について、順序を考えて配列し、全体として統一性のある作品集をつくっている。</p> <p>【Aの具体的な姿の例】自分で決めたテーマにそうと同時に、読者も意識して作品のジャンル・配列を工夫して決めながら、作品集にまとめている。</p> <p>【Cへの支援】集めた作品の配列の仕方について、選択肢を与えて本人に選ばせたあとで、それを選んだ理由を聞き、編集の基本方針とさせる。</p> <p>◇言語についての知識・理解・技能</p> <p>【Bの判定基準】作品集のテーマや全体の統一性を考慮しながら、</p> |

|           |   |                             |   |  |   |  |
|-----------|---|-----------------------------|---|--|---|--|
|           |   |                             |   |  |   | 適切なタイトルや見出しを決めている。<br><b>【Aの具体的な姿の例】</b> 実際の本で使われているタイトルや見出しを参考にして、自分の作品集のテーマに合わせた適切なタイトルや見出しを工夫して決めている。<br><b>【Cへの支援】</b> 作品集のテーマを表現するのに適切な言葉を書き出させたり、実際の本のタイトルをいくつか例示させたりする。   |
| パースデイ・ガール | 2 | ●自分の読書生活を振り返り、さまざまな本や文章を読む。 | 1 全文を通読して、あらすじと登場人物の人物像を捉える。<br>2 表現上の特徴を調べる。自分だったら二十歳の誕生日に何を願うか、自由に考えて交流し、紹介し合う。 | C(1)ウ<br>C(1)オ<br>伝国(1)イ(イ)<br><b>言語活動例</b><br>C(2)ウ | ◇ <b>国語への関心・意欲・態度</b><br>・作品を読み、自分の感想や考えを他と交流することで読書の楽しみを見いだそうとしている。<br>・同じ作家の作品を読み上げたり、テーマで作品を読み上げたりして読書経験を広げようとしている。<br>◇ <b>読心能力</b><br>・作品の展開や表現の工夫について評価している。<br>◇ <b>言語についての知識・理解・技能</b><br>・作品の語句の使い分けに注意して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 | ◇ <b>国語への関心・意欲・態度</b><br><b>【Bの判定基準】</b> 作品を読み、自分の感想や考えを他と交流しようとしている。<br>同じ作家の作品を読み上げたり、テーマで作品を読み上げたりして読書経験を広げようとしている。<br><b>【Aの具体的な姿の例】</b> 作品を読み、「もし、自分が二十歳の『彼女』だったら、どんなことを願うか。」について自分の考えをもち、その考えを他と積極的に交流しようとしている。<br>同じ作家の他の作品を読んだり、「人生」や「願いごと」をテーマにした作品を読んだりして、自らの読書経験を広げようとしている。<br><b>【Cへの支援】</b> 作品の次の部分を読み直させてから、もう一度「みちるべ2」に取り組ませる。<br>「こうなればいいという願いだよ。お嬢さん、君の望むことだ。もし願いごとがあれば、一つだけかなえてあげよう。それが私のあげられるお誕生日のプレゼントだ。しかしたった一つだから、よく考えたほうがいいよ。」(P210 上17)<br>『パースデイ・ガール』が収録されている村上春樹編・訳の『パースデイ・ストーリーズ』を紹介し、同書に収められている「誕生日」をテーマにした短編を読ませて、感想を促す。<br>◇ <b>読心能力</b><br><b>【Bの判定基準】</b> この作品の展開を、作品の語りの構造に注意しながらまとめている。<br><b>【Aの具体的な姿の例】</b> 作品の一行あきによる八つの段落が、語りの構造のどのレベルにあるかを説明している。<br>八つの段落に小見出しをつけたうえで、「前半部」と「後半部」の大きく二つに分けている。<br><b>【Cへの支援】</b> 作品の八つの段落のあらすじを、「誰が」「何を」「いつ」「どこで」「なぜ」「どのように」というような5W1Hを観点にして、まとめさせる。 |

|    |      |   |  |  |  |   |   |
|----|------|---|--|--|--|---|---|
|    |      |   |  |  |  |   | <p><b>◇言語についての知識・理解・技能</b></p> <p><b>[Bの判定基準]</b> この作品で用いられている語句の使い分けに注意して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p><b>[Aの具体的な姿の例]</b> 直喩や外来語の使用など、この作品における語句の使い分けに注意して、表現上の工夫や特徴を説明している。</p> <p><b>[Cへの支援]</b> 直喩という表現法の仕組みを調べさせる。</p>  |
| 3月 | 花を贈る | 1 | <p>●文章の表現の仕方を評価し、筆者の「哲学的」な考え方に対して、自分の考えを深める。</p> | 1 文章の表現の仕方を評価し、筆者の「哲学的」な考え方に対して、自分の考えを深める。 | <p>C(1)ウ<br/>C(1)オ<br/>伝国(1)イ(イ)<br/><b>言語活動例</b><br/><br/>C(2)ウ</p> | <p><b>◇国語への関心・意欲・態度</b></p> <p>・「花を贈る」という行為の意義について、筆者の考えを捉えながら、哲学的なものの見方や考え方に関心をもとうとしている。</p> <p><b>◇読む能力</b></p> <p>・文章の表現の仕方を評価しながら、筆者が説いていることを捉え、「哲学的」に考えることについて、自分の考えを深めている。</p> <p><b>◇言語についての知識・理解・技能</b></p> <p>・抽象的な語句の意味を捉え、内容の読み取りに役立たせている。</p> | <p><b>◇国語への関心・意欲・態度</b></p> <p><b>[Bの判定基準]</b> 「花を贈る」という行為の意義について、自分の体験をもとに筆者の考えを捉えながら、哲学的なものの見方や考え方に関心をもとうとしている。</p> <p><b>[Aの具体的な姿の例]</b> 「花を贈る」という行為の意義について、自分の体験をもとに筆者の考えを捉えながら、身のまわりにあるさまざまな事柄について哲学的なものの見方や考え方をすることに関心をもとうとしている。</p> <p><b>[Cへの支援]</b> これまでに経験したり見聞したりした花を贈る場面を思い出し、それぞれどのような意味がこめられているかを考えさせる。</p> <p><b>◇読む能力</b></p> <p><b>[Bの判定基準]</b> 取り上げられている事例や、語句や比喩などの用いられ方など、文章の表現の仕方を評価しながら、筆者が「花を贈る」という行為をとおして説いていることを自分の体験と結びつけて捉え、「哲学的」に考えることについて、自分の考えを深めている。</p> <p><b>[Aの具体的な姿の例]</b> 取り上げられている事例や、語句や比喩などの用いられ方など、文章の表現の仕方を評価しながら、筆者が「花を贈る」という行為をとおして説いていることを自分の体験と結びつけて捉え、「哲学的」に考えることについて、抽象的な言葉を使いながら、比喩を交えて自分の考えを深めている。</p> <p><b>[Cへの支援]</b> 筆者があげている事例と、そこに用いられている語句や表現の関係について、グループでまとめさせる。</p> <p><b>◇言語についての知識・理解・技能</b></p> <p><b>[Bの判定基準]</b> 抽象的な語句の意味を具体的に理解し、文脈にあてはめ理解している。</p> <p><b>[Aの具体的な姿の例]</b> 抽象的な語句の意味を具体的に理解し、文脈にあてはめ理解し、さらに日常の語彙を豊かにしている。</p> |

|       |   |                            |                             |   |  |  |  |
|-------|---|----------------------------|-----------------------------|---|--|--|--|
|       |   |                            |                             |   |  |  | <p><b>【Cへの支援】</b> 辞書の用例を手がかりに、語句の意味を具体的に理解させ、文脈にあてはめさせ理解させる。</p> |
| 自分自身に | 1 | (●詩を読んで、「自分自身に」向けた言葉を考える。) | 1 詩を読んで、「自分自身に」向けた言葉を考えてみる。 | C(1)エ<br>伝国(1)イ(イ)<br><b>言語活動例</b><br>C(2)ア | <p>◇<b>国語への関心・意欲・態度</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・詩に表れているものの見方や考え方をもとに、自分自身について考えようとしている。</li> </ul> <p>◇<b>読む能力</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・詩に表れているものの見方や考え方を批評している。</li> </ul> <p>◇<b>言語についての知識・理解・技能</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・詩の中の語句の使い分けに注意して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> </ul> | <p>◇<b>国語への関心・意欲・態度</b></p> <p><b>【Bの判定基準】</b> 詩に表れているものの見方や考え方を自分自身にひきつけて考えようとしている。</p> <p><b>【Aの具体的な姿の例】</b> 詩に表れているものの見方や考え方を、中学を卒業する今の自分と関連づけて考えようとしている。</p> <p><b>【Cへの支援】</b> 卒業間近の学習者へのメッセージとしても、読むことができる詩であることを確認させる。</p> <p>◇<b>読む能力</b></p> <p><b>【Bの判定基準】</b> 自分を励ますことの意味や価値について、自分の意見を述べている。</p> <p><b>【Aの具体的な姿の例】</b> 自分を励ますことの意味や価値について、現在の自分の置かれた状況と関わらせて述べている。</p> <p><b>【Cへの支援】</b> 自分を励ますとはどういうことかを理解できるように、個別に支援する。</p> <p>◇<b>言語についての知識・理解・技能</b> <b>【Bの判定基準】</b> 対句的な表現や繰り返し表現などについて、その効果を考えている。</p> <p><b>【Aの具体的な姿の例】</b> 対句的な表現や繰り返し表現などについて、その効果を評価している。</p> <p><b>【Cへの支援】</b> 語種や文字種の使い分けがどこに見られるか確認させる。</p> |  |

時数合計 90 時間 (内、話すこと・聞くこと 12 時間、書くこと 21 時間)

※本表中、「漢字の練習」の時数や学習活動などについては、適宜扱う。

※本表中、「教材目標」欄に ( ) で示してあるものは、教科書では目標として示していないが、想定される目標として設定したものである。

※本表に記載のない教材(「四季のたより」「本の世界へ」「言葉と仕事」「ことばの散歩道」「文法3 文の組み立て」「文法4 文法的に考える」「言葉の自習室」)については、適宜扱う。